

平成 25 年度幸福実感日本一（政策）職員提案制度について

平成 25 年 5 月 9 日
総務部行財政改革推進課

1. 平成 24 年度の概要と結果

(1) 制度の目的

- ・ 職員の意欲及び能力の向上、組織の活性化
- ・ 組織内の幅広い知の活用による、より少ないコストの政策の形成

(2) 制度概要

- ・ 次年度に向けて解決策を求める課題等のテーマを部局毎に設定し、募集。
- ・ テーマ設定部局が、課題解決に有効で事業等として採用できるかの視点等で選考。
- ・ テーマ設定部局は、提案選考の結果等を踏まえ事業化（必要に応じて予算要求）。
- ・ テーマ設定部局は提案選考の結果等を踏まえ職員力公募制度により職員を募集。
- ・ 提案については、事業化の状況、事業の成果等を踏まえ、事業化年度末の「MIE 職員力アワード」において提案制度として表彰。

(3) 応募提案数 72 提案

(4) 選考結果	採 用	9	提案（企業庁公募ワーキングの提案 4 含む）
	部分採用	51	提案
	不採用	12	提案

2. 平成 25 年度幸福実感日本一（政策）職員提案制度 案

制度の目的は、平成 24 年度と同様とし、以下のとおり自由テーマ部門等を追加し実施します。

(1) テーマ部門

次年度に向けて解決策を求める課題等のテーマを部局毎に設定し、募集します。選考は、テーマ設定部局が、課題解決に有効で事業等として採用できるかの視点等で行います。（テーマ部門については 24 年度から変更はありません。）

なお、提案を募集するテーマについては、春の政策協議で話し合われた課題等、喫緊に解決が求められるものを各部局から募集し、設定することとします。

(2) 自由テーマ部門

自由テーマ部門は、職員の政策形成能力を高める一環として、自由な発想のもと政策提案する機会として設けます。応募のあった提案は、イントラネット上で他の職員の賛同票を募り、賛同の多かった上位（3 本程度想定）の提案については、オブザーバーとして知事に同席してもらったうえで、提案者と担当部局職員等が意見交換を行い、提案の実現可能性を探る機会を設けます。また、その他の提案については、担当部局において事業推進のために参考となったものを 1 月末に公表することとします。

(3) 一口政策提案

組織内の幅広い知の活用により、今後の事業推進のための参考とするアイデアを求めることを目的とし、簡易な提案書で匿名でも気軽に応募できる「一口政策提案」を通年で募集します。「一口政策提案」については、毎年9月末に一旦とりまとめ、関係部局へ情報提供を行い、担当部局において事業推進のために参考となったものを1月末に公表することとします。(なお、提案内容はイントラネット上で、いつでも随時参照できるものとします。)

(4) 提案方法の変更

提案については、投稿した時点で職員に共有できるようにすることや、データベースとして検索性を高めるために、D-box への投稿方式へ変更します。

3. スケジュール

	テーマ部門	自由テーマ部門	一口政策提案
5月9日	三重県行財政改革推進本部周知		
5月下旬	提案募集テーマ締切		
6月初旬	職員提案募集開始		
7月中旬		職員提案締切	通年で募集
7月下旬	職員提案締切	職員賛同票募集	
8月上旬	採用提案の選考【部局選考】		
8月下旬		知事、担当部局等との意見交換 (上位3本程度想定)	
9月上旬 (9月中旬) 9月下旬	選考結果の集約 (秋の政策協議)		関係部局へ 情報提供
10月	事業化の検討		
12月	職員力公募制度による職員募集		
1月下旬		事業推進の参考となったものを公表	
次年度4月	提案をふまえた事業の実施		
次々年度2月 予定	事業化の状況、事業の成果等を踏まえ事業化年度末の「MIE 職員力 アワード」において提案制度として表彰。		

平成 25 年度幸福実感日本一（政策）職員提案募集要領（案）

1. 制度の趣旨

幸福実感日本一（政策）職員提案制度は、政策を提案し、実現する機会をつくり、以下の目的のため実施します。

(1)職員一人ひとりの意欲・能力の向上と組織の活性化を促します。

(2)幅広い知による政策形成を促すことにより、厳しい財政状況のなか、より少ない経営資源でより効果的な政策の立案につなげます。

2. 提案者

職員又は、職員で構成するグループ

3. 募集提案等

(1) 募集提案

(i)テーマ部門 募集テーマを対象とします。

(ii)自由テーマ部門 「みえ県民カビジョン」の実現につながる事業を対象とします。

(iii)一口政策提案 いつでも匿名でも気軽に提案できる一口政策提案を募集します。提案内容は、テーマ部門、自由テーマ部門いずれかに関するものとします。

※ 提案内容は現在の職務・担当業務に関連することを必要としません。

(2) 事業期間・事業費

提案する事業の期間や事業額は特に問いませんが、厳しい財政状況を踏まえ、費用対効果（より少ない経営資源で効果的な提案）を選考の主なポイント（後述8）の一つとしており、ゼロ予算事業を歓迎します。

4. 応募方法

それぞれ D*BOX（以下アドレス）に直接入力をお願いします。入力項目や入力に際しての留意事項は、別添を参照してください。

(i)テーマ部門 URL _____

(ii)自由テーマ部門 URL _____

※(i) (ii) とともに、提案は簡潔にわかりやすい記述を心がけてください。（A4 2 枚程度を想定しています。）

(iii)一口政策提案 URL _____

5. 提出期限等

- (i) テーマ部門 7月31日(水)
- (ii) 自由テーマ部門 7月16日(火)
- (iii) 一口政策提案 通年で募集

6. 提案の取扱

(i) テーマ部門

- (1) テーマ設定部局において「8. 選考の主なポイント」に基づき、課題解決に有効で事業等として採用できるかの視点により選考します。すべての提案について選考理由を付して提案者にフィードバックをします。
- (2) テーマ設定部局は、提案選考の結果等を踏まえ事業化します。(必要に応じて予算要求)
- (3) テーマ設定部局は、提案選考の結果等を踏まえ、必要に応じて職員力公募制度により、提案内容を担当する職員を募集します。
- (4) 提案については、事業化の状況、事業の成果等を踏まえ優良なものは、MIE 職員力 アワードにおいて表彰します。

(ii) 自由テーマ部門

- (1) 応募のあった提案について、イントラネット上で「8. 選考の主なポイント」に基づき他の職員の賛同票を募ります。
- (2) 賛同票の多かった上位(3本程度)の提案については、知事をオブザーバーとし、提案者と担当部局職員等が意見交換を行い、提案の実現可能性を探る機会を設けます。
- (3) 担当部局は提案内容が今後の事業推進のために参考となるかどうかを検討します。また、必要に応じて職員力公募制度により提案内容を担当する職員を募集します。
- (4) 担当部局において事業推進のために参考としたものは、1月末に公表します。
- (5) 提案については、事業化の状況、事業の成果等を踏まえ優良なものは、事業化年度末のMIE 職員力 アワードにおいて表彰します。

(iii) 一口政策提案

- (1) 応募のあった提案は、一旦9月末にとりまとめ、今後の事業推進の参考として関係部局へ情報提供を行います。
- (2) 担当部局において事業推進のために参考としたものは、1月末に公表します。
- (3) 10月以降応募のあった提案については、次年度以降の9月末において関係部局へ情報提供を行う予定です。(D-boxへの応募投稿のため、各部局は随時参考とすることは可能です。)

※提案について、国への制度改正を求める項目を含む場合、戦略企画部政策提言・広域連携課に相談していただければ、同課にて助言・支援を行います。

7. スケジュール

	テーマ部門	自由テーマ部門	一口政策 提案
5月9日	三重県行財政改革推進本部周知		
5月下旬	提案募集テーマ締切		
6月初旬	職員提案募集開始		
7月中旬		職員提案締切	通 年 で 募 集
7月下旬	職員提案締切	職員賛同票募集	
8月上旬	採用提案の選考【部局選考】		
8月下旬		知事、担当部局等との意見交換（上位3本程度想定）	
9月上旬 （9月中旬） 9月下旬	選考結果の集約 （秋の政策協議）		
10月	事業化の検討		
12月	職員力公募制度による職員募集		
1月下旬		事業推進の参考となったものを公表	
次年度4月	提案をふまえた事業の実施		
次々年度2月 予定	事業化の状況、事業の成果等を踏まえ事業化年度末の「MIE 職員力 アワード」において提案制度として表彰。		

8. 選考の主なポイント

応募のあった提案は、テーマが抱える課題に対して、次の(1)～(6)の視点から選考します。

(1) 費用対効果や手段の有効性

投入した資源（インプット）に比べて事業の内容（アウトプット）が妥当か。効果額が妥当か。また事業の内容（手段）は効果に対して有効で現実的であるか。

(2) 重要性・緊急性

厳しい財政状況のなか、実施内容は、重要で緊急性があるか。次年度に事業を実施する必要があるか。

(3) 県関与の妥当性

県が関与して事業を行う必要があるか。

(4) 協創の推進の視点

協創の観点を盛り込んでいるか。

(5) 独創性

アイデアが既存の取組と一線を画するものであるか。新たな視点や工夫が含まれ

ているかどうか。

(6) その他期待できる効果

人材育成等の波及効果が将来的に期待できるか。

9. 問い合わせ先

総務部行財政改革推進課 梅村（5226）、後田（5219）

Tel 059-224-2231

【別添 入力項目と留意事項 (i) テーマ部門】（実際は、D-box への入力となります。）

1	応募テーマ	
2	提案者所属、氏名（グループの場合は、グループ名と連絡担当者所属、氏名）	
3	提案概要	※150字程度（提案の内容、趣旨を簡潔に記載してください。）
4	提案事業の必要性と期待される効果	※テーマ担当部局が課題ととらえていることをどのように分析し、解決していくのか、なぜ今回の提案事業が必要であるかを記載してください。また提案事業の実施によって期待される効果についても記載してください。
5	提案事業内容	※事業化に向けた実現可能性を踏まえ、具体的でわかりやすい詳細な提案をお願いします。 ※提案の実現に向けて想定される課題やその解決策などもあれば記載してください。
6	選考にあたっての PR ポイント	(1) 費用対効果や手段の有効性 (2) 重要性・緊急性 (3) 県関与の妥当性 (4) 協創の推進の視点 (5) 独創性 (6) その他期待できる効果

【別添 入力項目と留意事項 (ii)自由テーマ部門】(実際は、D-box への入力となります。)

1	提案者所属、氏名（グループの場合は、グループ名と連絡担当者所属、氏名）	
2	提案タイトル	
3	関連する基本事業番号、基本事業名	
4	提案概要	※150字程度（提案の内容、趣旨を簡潔に記載してください。）
5	現状	
6	めざすべき姿	
7	課題	
8	提案事業の必要性と期待される効果	※課題ととらえていることをどのように分析し、解決するのか、なぜ今回の提案事業が必要であるかを記載してください。また提案事業の実施によって期待される効果についても記載してください。
9	提案事業内容	※事業化に向けた実現可能性を踏まえ、具体的でわかりやすい詳細な提案をお願いします。 ※提案の実現に向けて想定される課題やその解決策などもあれば記載してください。
10	PRポイント	(1)費用対効果や手段の有効性 (2)重要性・緊急性 (3)県関与の妥当性 (4)協創の推進の視点 (5)独創性 (6)その他期待できる効果

【別添 入力項目と留意事項 (iii)一口政策提案】（実際は、D-box への入力となります。）

1	提案者所属、氏名	※匿名の提案も可
2	提案タイトル	
3	関連する基本事業番号、基本事業名又はテーマ部門におけるテーマ	
4	提案内容	※500 字程度 ※ちょっとしたアイデアや事業実施にあたってのヒント程度の提案も可とし、詳細な事業設計までは求めません。